

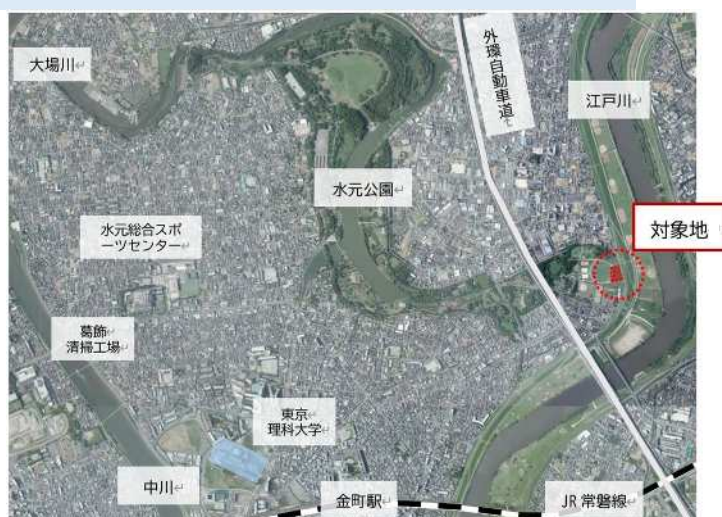
(仮称)水元公園スケートボード広場整備 基本計画(概要版) 令和 8 年 月

葛飾区スポーツ推進計画に掲げている「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツに取り組める環境整備の一環として、区民のニーズに応え、スポーツの裾野を広げるため、（仮称）水元公園スケートボード広場整備 基本計画を策定します。

■ 計画策定の背景・目的

- スケートボードは、東京 2020 オリンピック競技大会に続き、パリ 2024 オリンピック競技大会においても、日本人選手が大きく活躍したことで、競技として注目を集めています。
- 本区においても、令和 6 年度に実施した第 5 回葛飾区区民モニターアンケート調査の、区内にアーバンスポーツ施設は必要かという質問に、「必要」及び「どちらかといえば必要」と回答した区民は 69.0%であり、そのうち、必要と思う種目において「スケートボード」と回答した区民は、65.6%と最も高い割合になっていることから、機運の高まりとともに、需要が増加傾向にあることがうかがえます。
- 区内では、現状「上千葉砂原公園」の一部を夕方の時間帯に練習場所としていますが、スケートボード専用の施設ではないことから、愛好者・競技者の需要を満たしているとは言えません。
- こうした状況を踏まえ、区民の需要の増加に応えるとともに、愛好者・競技者が安全かつ安心してスケートボードに取り組める、専用施設の整備を進める必要があります。
- 整備に当たっては、愛好者・競技者だけでなく、初心者や家族連れなど、年齢や経験を問わず多くの方が「体験してみたい」、「利用してみたい」と思える、魅力あるスケートボード施設となることを目指します。また、大会やイベントが開催可能な設計とし、スケートボードの楽しさややりがいを発信していき、幅広い世代の関心が高められる施設を目指します。

■ 対象地の概況



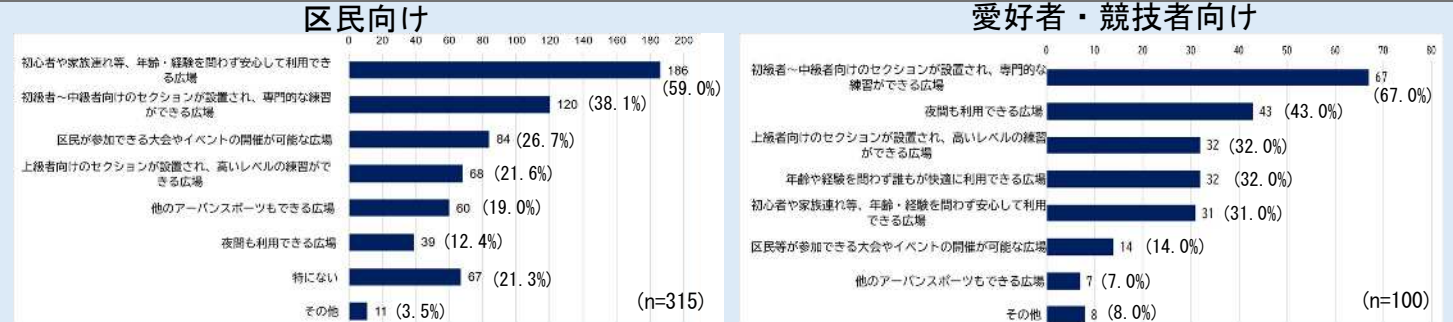
※国土地理院撮影の空中写真（令和元年撮影）を加工して作成

名称	水元公園 東金町運動場 多目的広場東側草地広場
位置	葛飾区東金町 8 丁目 24 番
アクセス	東武バスセントラル 「東金町運動場入口」下車徒歩 5 分
敷地面積	約 4,900 m ² ※測量調査を実施予定



■ アンケート調査結果(一部抜粋)

利用してみたいスケートボード広場（複数回答可）



まとめ ○フラットな広場と初級・中級セクションを中心に、一部上級セクションを盛り込んだ配置とすることで、幅広い利用者層に対応した施設になると考えます。
○愛好者・競技者では、夜間利用に対する高い需要が示されました。

(仮称) 水元公園スケートボード広場の利用意向 (単一回答)



まとめ

- 区民では「利用しない」と回答した方が多い一方で、愛好者・競技者では、半数程度の回答者が、週1回以上の定期的な利用意向が示されました。
- 大会や体験教室の実施等により、魅力や楽しさを発信し、利用者層の拡大を図ります。

■ 基本的な考え方

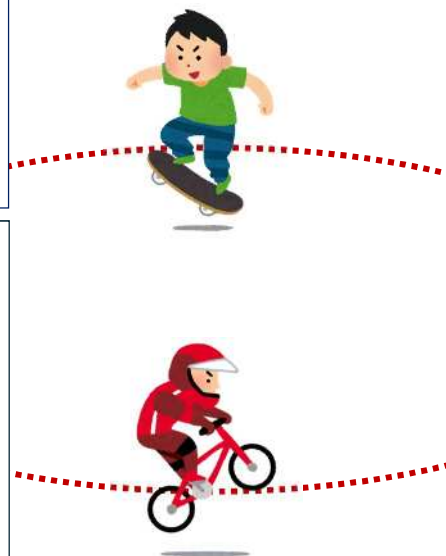
幅広い利用者層に対応するとともに、利用者が創造性を発揮できる自由度の高い施設の実現を目指し、整備に向けた基本的な考え方を整理します。

① 年齢や経験等を問わず幅広い利用者層に対応した施設

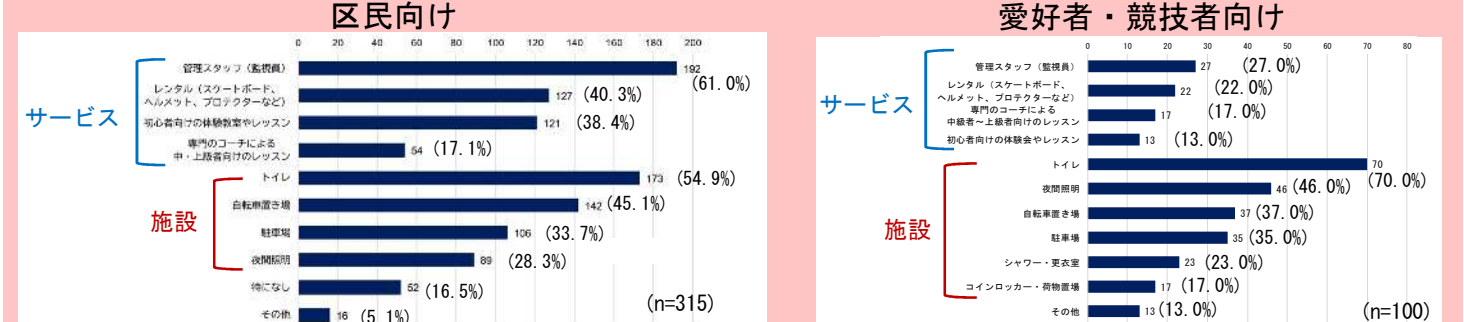
- ・計画地の広い面積を活かして、初級から上級まで全てのレベルに対応した滑走エリアを設け、年齢・経験を問わない、幅広い利用者層が楽しめる施設とします。
- ・フラットな滑走面と多種多様なセクションを配置し、利用者の創造性が発揮される自由度の高い滑走が楽しめる先進的な施設とします。
- ・スケートボードを中心に、インラインスケートやBMX等、様々な競技種目の利用も可能とし、幅広い需要に対応できる施設とします。

③ 安全・安心な環境の構築

- ・管理スタッフの配置や安全柵の設置など、他の公園利用者に配慮した、安全・安心な利用環境を維持します。
- ・定期的なマナー啓発、競技に関する指導・助言及び講習会等を行います。
- ・スケートボードやインラインスケート、BMXといった各種目の利用者が安全に取り組める利用方法やルールを定めます。
- ・滑走音や照明等が、周辺住民や公園の自然環境に与える影響を可能な限り低減させるための方策を、設計で検討します。



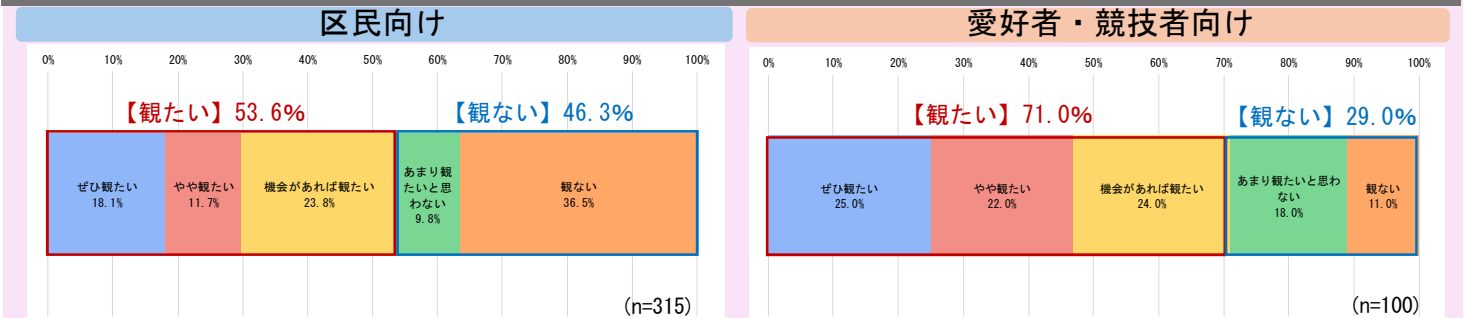
整備してほしい施設やサービス（複数回答可）



まとめ

- サービス面では、管理スタッフ配置や道具のレンタル等、誰もが安全・安心に利用ができる環境が求められています。
- 施設面では、トイレや自転車置き場等の利便性の向上を図る設備が求められています。

プロ選手のパフォーマンス観覧の意向（単一回答）



まとめ

- 区民、愛好者・競技者とも観覧に高い関心を持っている結果となりました。
- プロ選手のパフォーマンスが観覧できる機会を設けて、競技の魅力を発信します。

② 次世代の育成とスケートボード文化の振興

- ・ 初心者向けにスケートボードやヘルメット、プロテクター等のレンタルを実施し、競技に触れるきっかけを創出する施設とします。
- ・ 区民が参加できる大会やプロ選手のパフォーマンスを楽しめるイベント等が実施できる施設とします。また、SNSを用いてこれらの情報を発信します。
- ・ 葛飾区ならではの街並みや河川をコースやセクションで表現し、本区の街中を滑走するようなイメージで設計します。また、音響設備を配備し、音楽（BGM）の効果的な活用により「ストリートスポーツ」としての雰囲気表現します。これにより、「スポーツ」と「文化・芸術」の両面を通じてスケートボードの魅力や楽しさを発信します。

④ 大規模災害時の対応

- ・水元公園が「大規模救出救助活動拠点」であることを踏まえ、発災時には関係機関と連携し、災害対応スペースとして効果的に活用します。

■ 整備計画

全体

- 葛飾区ならではの街並みや河川をコースやセクションで表現するとともに、音楽（BGM）の効果的な活用により「ストリートスポーツ」としての雰囲気表現し、文化的側面を通じた魅力発信
- 安全性の確保
- 植栽やシェードを用いた日よけスペースにベンチ等が設置された滞留空間を配置



管理(トイレを含む。)ゾーン

- 受付(利用・道具レンタルなど)、安全管理、マナーアップ活動等の実施
- 整備計画地の利便性の向上を図るためのトイレ新設(スケートボード以外の公園利用者也利用可能)



フラットゾーン

- コンクリート舗装のフラットな路面
- 基礎的な練習から創造性を活かした滑走まで幅広く対応



回遊ゾーン

- コンクリート舗装の平坦な周回コース
- 幅広いレベルの使用を想定
- 左、右周りの対面滑走が可能なゆとりあるコース幅を確保

アクティブゾーン

- 多種多様なセクションを設置し、幅広いレベルの利用者が競技に親しめるエリア
- パフォーマンスゾーンと一体性を有し、相互に連携した創造的な滑走が可能
- セクション内に滞留空間を配置し、利用者同士の交流機会を創出



パフォーマンスゾーン

- アクティブゾーンとの一体的な利用により連続した滑走が可能
- 大会や、プロスケーター等によるパフォーマンスが楽しめるイベントの開催エリア



滑走エリア	全体	約 2,670 m ²	
管理施設	管理事務所 倉庫	約 50 m ²	安全管理、利用受付、備品収納等
安全対策	フェンス	高さ 3m/延長約 200m	
	出入口	高さ 3m 両開き門扉	
	照明	JIS(日本産業規格)照明基準に準じた 150lx 以上の照度を確保	
その他	トイレ	約 30 m ²	男性用 1 か所、女性用 1 か所 バリアフリースペース 1 室
	駐輪スペース	約 70 m ² (約 35 台分)	
運営時間(想定)	平日・休日	午前 9 時～午後 9 時 (最終受付 午後 8 時 15 分)	

■ 想定スケジュール

	令和 8 年度												令和 9 年度												令和 1 0 年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基本設計・実施設計																																				
関連法に基づく許可申請等手続き																																				
施工（破線部は入札等の準備期間）													――																							
開設準備 [※]																																				

※開設準備完了後、令和 10 年度中に供用開始します。

令和 8 年 月発行

葛飾区教育委員会事務局 生涯スポーツ課 管理係

〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 7-17-1 (奥戸総合スポーツセンター体育館内)

TEL: 03(3691)7111 (午前 8 時 30 分から午後 5 時まで)

メールアドレス: 301600@city.katsushika.lg.jp

